



# 守山市

## 発達支援センターだより

令和5年6月号

令和5年6月30日発行

守山市発達支援センター（発達支援課）

守山市下之郷三丁目2番5号 すこやかセンター内

Tel : 077-582-1158 Fax : 077-581-1628



### ～園の中で子どもが泣いている時、どのようにかかわっていますか？～



子どもが泣くには、お腹が痛いなど体調不良を訴えている、怪我をして痛い、友達に玩具を取られた、自分の思い通りにならない等々、何らかの理由があります。理由がわかる場合はそれなりに対応できますが、理由がわからない時が多々あります。園生活の中で、そのような時、あまり長く泣かれると、イライラしてしまい、ついつい、泣くことを止めようとしがちですが、泣きやまそうとすればするほど、泣きは強くなっていきます。泣くことを止めるよりは、泣いている理由はわからないけれど、とにかくその子の嫌な気持ちを分けることが大切です。



抱っこしたり、傍で寄り添ったりしながら、「よし、よし、わかった。わかった・・・」と言葉かけを繰り返すうちに、次第に泣きが小さくなり、落ち着いていきます。落ち着いたところで話を聴くと、それなりに答えてくれたり、遊び始めたりするでしょう。

子どもの泣きは、気持ちの表出方法のひとつです。肯定的に受け止めましょう。

### せんせい おうえん プログラム

### ～「進路交流会」～

高等学校等へ進学した生徒の進路体験談や保護者の思いを聞く交流会を開催します。

日 時：8月2日（水）午前10時から

場 所：すこやかセンター3階 講習室

対 象：①支援を要する子の進路について関心のある小・中学生の保護者  
②支援を要する子の進路について関心のある中学生  
③市内幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の教職員 等

\*申込方法などの詳細は、「令和5年度発達支援センター進路交流会の開催について」を後日送付いたしますのでご覧ください。

なお、同日午前9時より、「せんせい応援プログラム いまさら聞けない発達支援の基礎④療育手帳等」を開催します。合わせての参加もご検討ください。



### ～「特別支援教育研修会」～

～テーマ～ 「視覚機能の発達とビジョントレーニング（仮）」

講師：視機能トレーニングセンター ジョイビジョン京田辺 所長：富永絵理子氏

子どもの視覚機能の発達と、校園現場でできる支援やビジョントレーニングについて、分かりやすく講演していただきます。

日 時：8月21日（月）午後2時30分から午後4時30分まで

場 所：コミュニティ防災センター 1階 研修室

\*詳細が決まり次第、案内を各校園に送付いたしますので、ご確認ください。



こんな特徴のあるお子さんはいませんか？

- 手先が不器用
- 運動が苦手
- 力加減ができない
- 左右が分からない
- 姿勢が悪く、じっと座ってられない、など。



身体をうまく使えないと、スポーツが苦手というだけでなく、身辺自立や創作活動などにも困り感が生じ、学習や対人関係にも影響します。ここでは、教室で簡単に取り組める「認知作業トレーニング（Cognitive Occupational Training : COGOT）」から、自分の身体の使い方を知るための方法を、いくつか紹介します。

### ① 身体を知る

【ボディイメージ・  
バランス感覚の向上】

新聞で作った棒を握ったまま身体を動かします。さまざまな動きを通して身体のボディイメージを高めます。



手に力が入っていると、上手に曲がりません

### ② 力加減を知る

【筋力調整】

壁を全力で押してみても、どのような姿勢で押するのが最も力が入りやすいかを考えます。

＜教室でのヒント＞

「壁を全力で押す力を⑤としたら、先生に声をかける時は、②くらいの力で肩を叩いてみてね。」と力の強さを数字でとらえられるような声かけにつながります。



### ③ 指先を使う

【協調運動（微細運動）の向上】

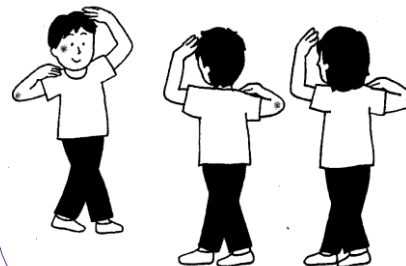


他のチームをよく見ましょ

90 秒の時間制限の中で、チームを作ってできるだけ高く積み木を積み上げます。積み木の代わりにつまようじや綿棒なども使えます。積み上げすぎると崩れるので、他のチームをよく観察しながらどこで止めるかなどの戦略が必要です。

### ④ 動きをまねる

【動作の記憶】



リーダーを決め、向かい合って立ちます。リーダーの立場になって真似をします。鏡ではありません左右対称をとらえて真似ます。静止した姿勢、連続動作でもしてみます。

＜引用文献＞…イラストも同著より抜粋…

教室の困っている発達障害をもつ子どもの理解と認知的アプローチ—非行少年の支援から学ぶ学校支援—

宮口幸治・著 明石書店



頭を使いながら身体を動かすため、注意・集中力のない子どもたちへの身体的トレーニングとして使うことができます。また、費用がそれほどかからず、やって楽しめるトレーニングを紹介しました。他にも、人の動きやポーズを見て覚え、別の人に言葉で伝えることも、動作を言語で表す力につながります。楽しみながら、いろいろな身体の使い方が身につくことで、その子の自信につながれば、と願っています。